

円明寺ゑんみやうじは小倉山をぐらの南にあり。本尊は薬師如来やくしにょらいにして、聖徳太子しやうとくだいしの御作なり。当寺はいにしへ堂塔巍々として、九条殿てうでん下光明峰寺かくわうみやうふじ道家公みちいへの草創なり。御子円明寺ゑんみやうじ摂政せつしやう実経公みねつね晩年に及んで父祖の遺跡を棄給はず、此地に山荘を構て閑居し給ふ、遂に此所に於て薨じ給ふ、御墳小倉をぐらのやしろの巽にあり。